

【参考】公共交通に関する区民アンケート調査について

■ 調査概要

- 世田谷区民の日常生活における移動実態、公共交通の利用状況、問題意識等を把握するためアンケート調査を実施

【調査概要】

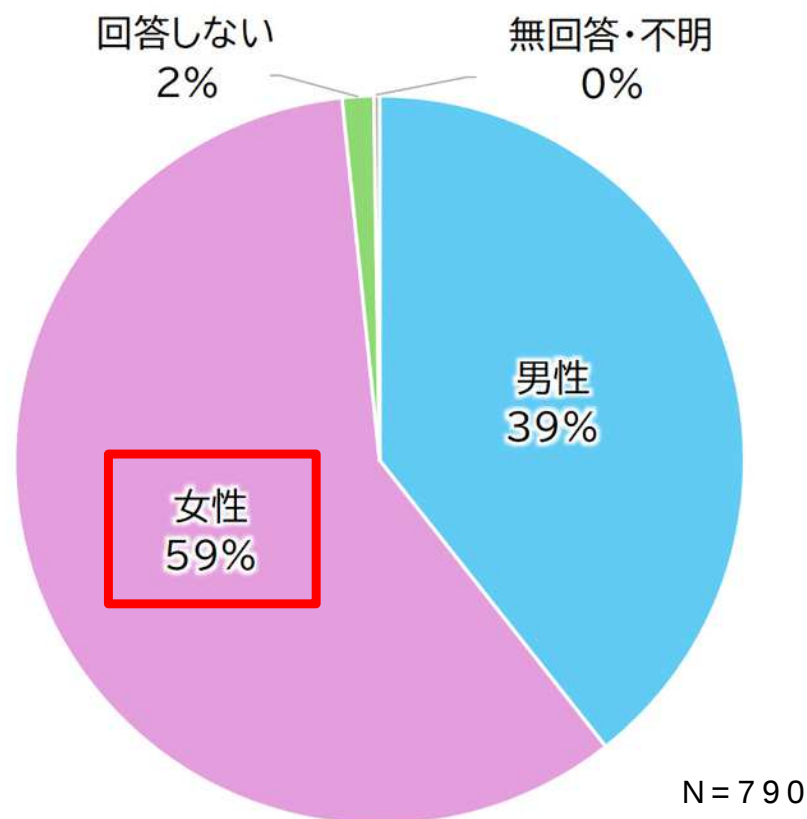
調査期間	令和5年12月4日(月)～25日(月)
調査対象	15歳以上の世田谷区内在住者
調査内容	個人属性 交通手段の利用状況、 日常生活における外出(通勤・通学、 買い物、通院) 公共交通の満足度 公共交通の在り方
実施方法	郵送配布・郵送回収及びWEB回答
配布部数	2,500部(無作為抽出)
回答数	790(回収率32%) 【紙回答】 486票 【WEB回答】304票

■ 調査結果

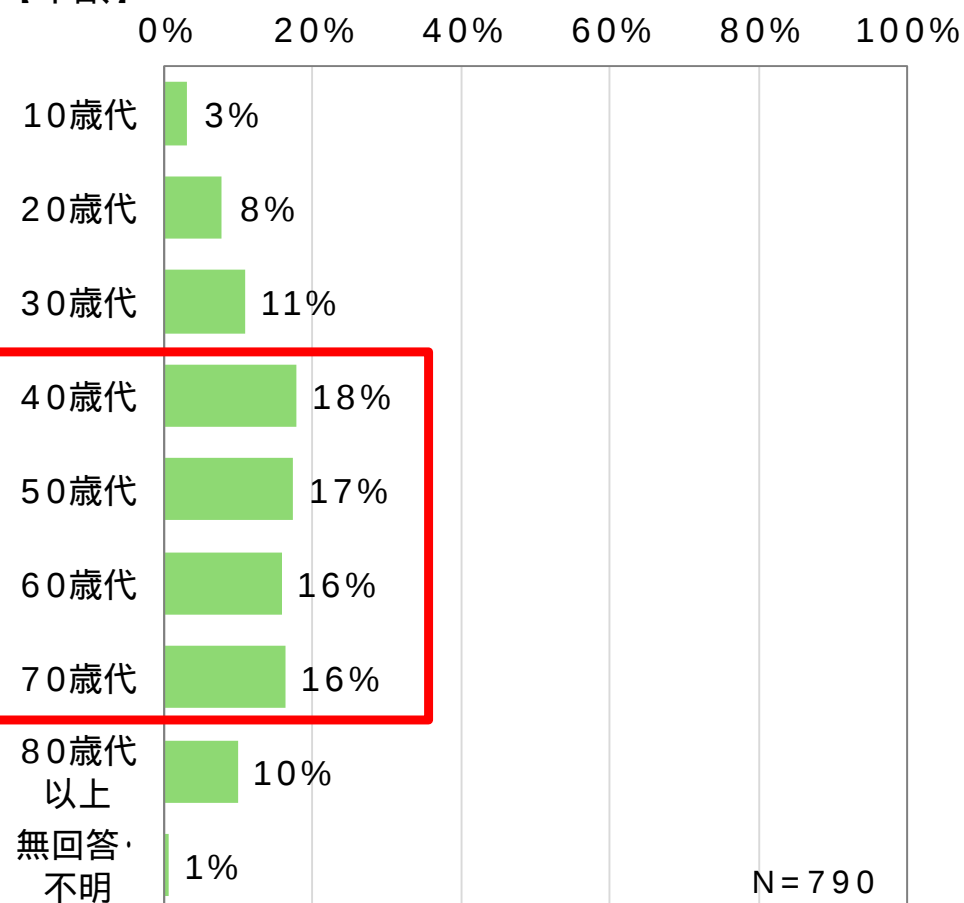
(1) 個人属性(性別・年齢)

- 回答者は、「女性」の割合が59%と多くっており、男性は39%である。
- 年齢は、「40歳代」～「70歳代」がそれぞれ約20%である。

【性別】



【年齢】

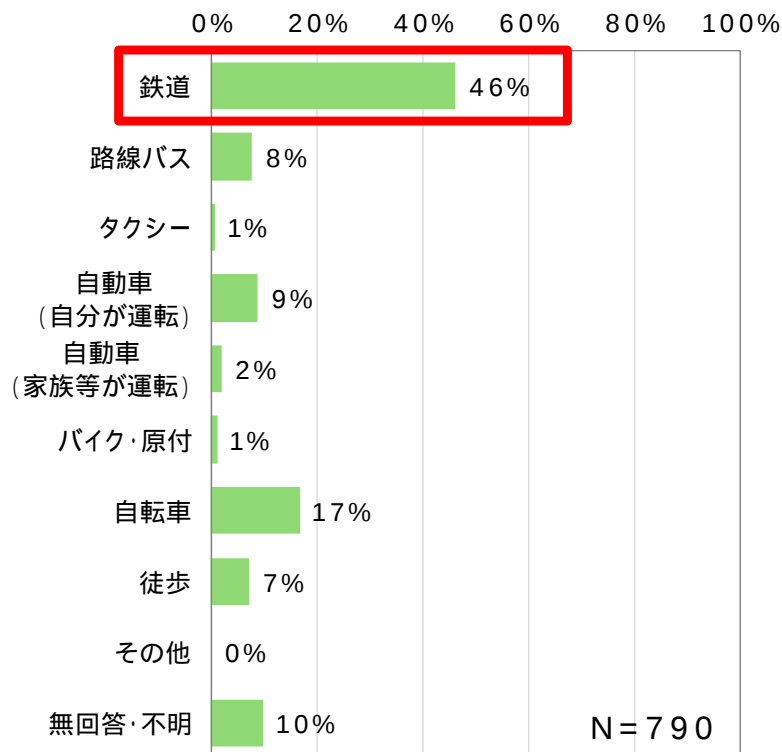


■ 調査結果

(2) 交通手段の利用状況(最もよく利用する交通手段)

- 最もよく利用する交通手段は、「鉄道」が46%で最も多く、次いで「自転車」が17%となっている。
- 年代別にみると、70歳代、80歳代は、他の年代に比べて「鉄道」の割合が約20%と低く、「路線バス」の割合が約20%と高くなっている。

【普段、最もよく利用する交通手段】



【年代別にみた普段、最もよく利用する交通手段】

	鉄道	路線バス	タクシー	自動車 (自分が運転)	自動車 (家族等が運 転)	バイク・原付	自転車	徒歩	その他	無回答・不明	合計
10歳代 (N=24)	46%	13%	0%	0%	0%	0%	33%	4%	0%	4%	100%
20歳代 (N=62)	82%	2%	0%	0%	2%	0%	5%	5%	0%	5%	100%
30歳代 (N=87)	56%	2%	1%	3%	1%	1%	21%	9%	0%	5%	100%
40歳代 (N=141)	49%	5%	0%	9%	1%	4%	24%	6%	0%	4%	100%
50歳代 (N=138)	60%	4%	1%	9%	0%	1%	16%	3%	0%	6%	100%
60歳代 (N=125)	43%	6%	0%	14%	2%	1%	18%	6%	0%	10%	100%
70歳代 (N=129)	24%	15%	0%	15%	5%	0%	13%	12%	0%	17%	100%
80歳代以上 (N=78)	19%	21%	5%	5%	4%	0%	9%	13%	0%	24%	100%
全体 (N=790)	46%	8%	1%	9%	2%	1%	17%	7%	0%	10%	100%

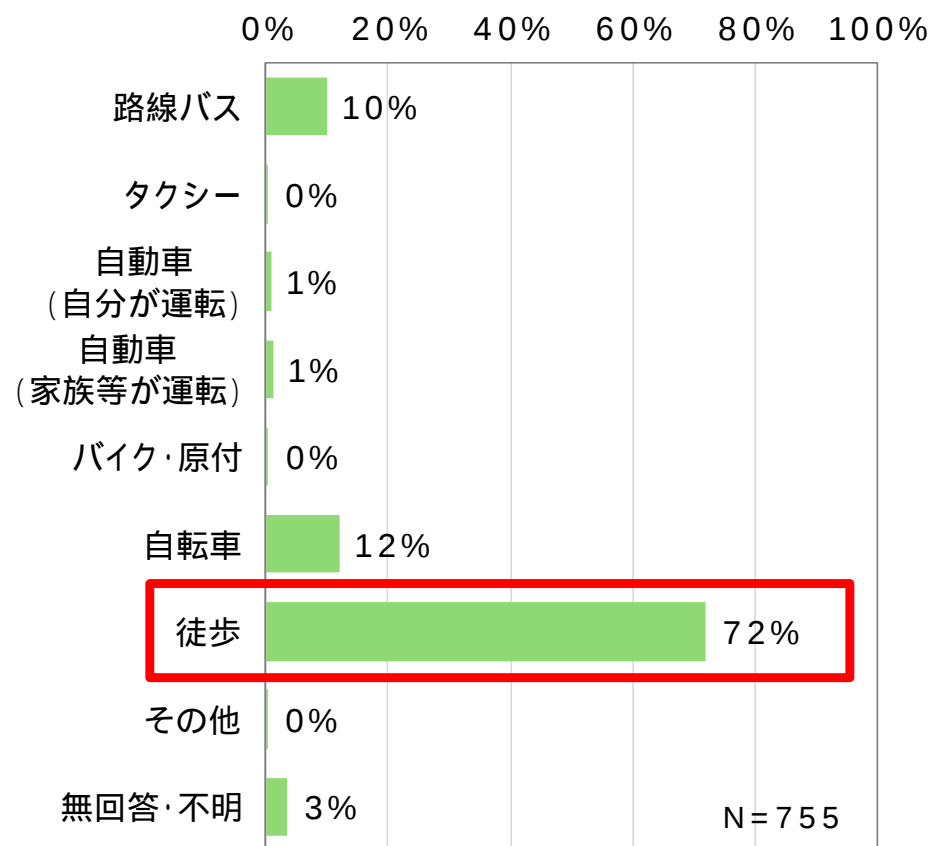
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

(2) 交通手段の利用状況(最寄り駅までの交通手段)

- 最寄り駅までの交通手段は、**徒歩が72%で最も多く**、次いで自転車が12%、路線バスが10%と続いている
- 年代別にみると、「徒歩」は全年代で最も多くの割合を占めているものの、**70歳代、80歳代**については、「**路線バス**」が約20%となっており、他の年代に比べて多く利用されている。

【最寄り駅までの交通手段】



最寄り駅の利用頻度について「利用しない」と「無回答・不明」の票を除いて集計

【年代別にみた最寄り駅までの交通手段】

	路線バス	タクシー	自動車 (自分が運転)	自動車 (家族等が運転)	バイク・原付	自転車	徒歩	その他	無回答・不明	合計
10歳代 (N=24)	13%	0%	0%	13%	0%	25%	50%	0%	0%	100%
20歳代 (N=60)	8%	0%	0%	3%	0%	3%	82%	3%	3%	100%
30歳代 (N=86)	2%	0%	0%	0%	2%	12%	83%	1%	1%	100%
40歳代 (N=140)	5%	0%	1%	0%	1%	22%	71%	1%	1%	100%
50歳代 (N=132)	6%	0%	0%	1%	0%	17%	75%	2%	2%	100%
60歳代 (N=121)	8%	1%	2%	2%	0%	8%	74%	4%	4%	100%
70歳代 (N=120)	19%	0%	1%	0%	0%	6%	68%	6%	6%	100%
80歳代以上 (N=68)	21%	1%	1%	0%	0%	4%	60%	12%	12%	100%
全体 (N=755)	10%	0%	1%	1%	0%	12%	72%	3%	3%	100%

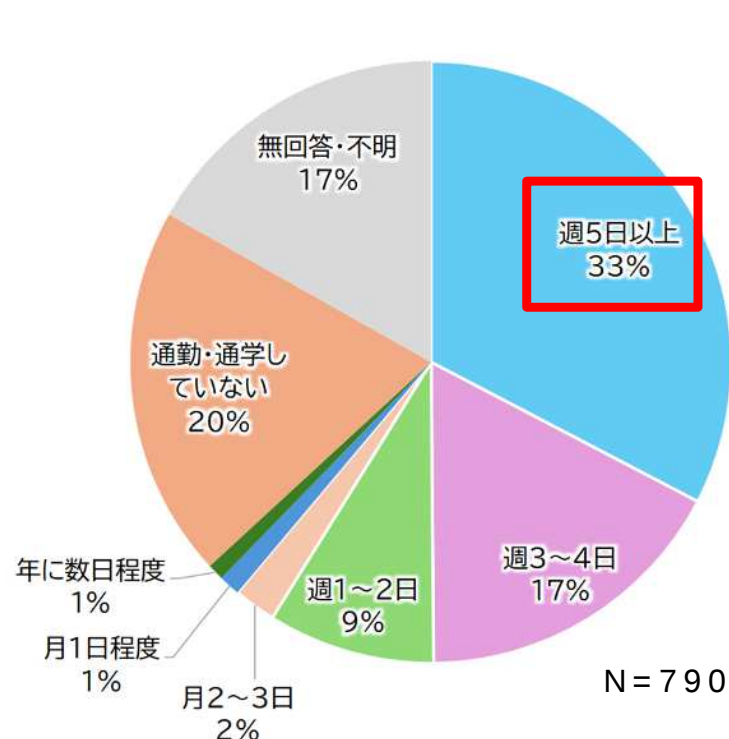
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

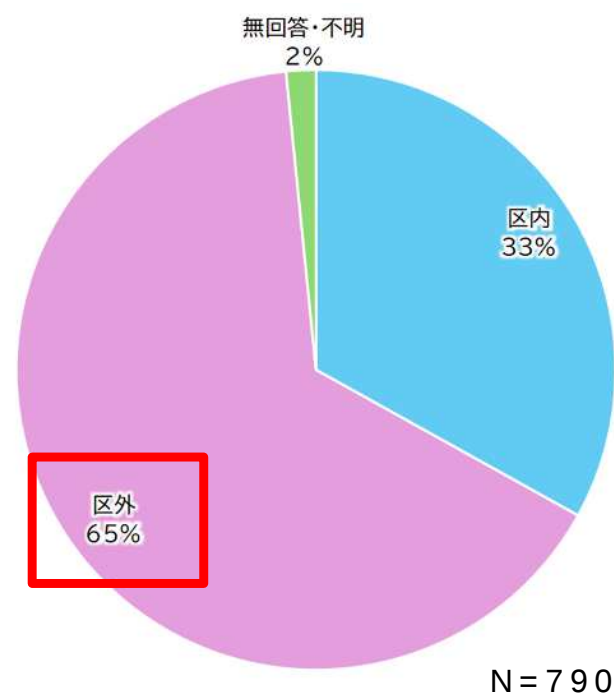
(3) 日常生活における外出(通勤・通学)

- 通勤・通学の頻度は、「週5日以上」が33%で最も多く、次いで「通勤・通学していない」が20%、「週3～4日」が17%と続いている。
- 通勤・通学先は、「区外」が65%で「区内」は33%である。
- 通勤・通学先への交通手段は、「鉄道」が47%で最も多く、次いで「徒歩」が21%、「自転車」が13%と続いている。

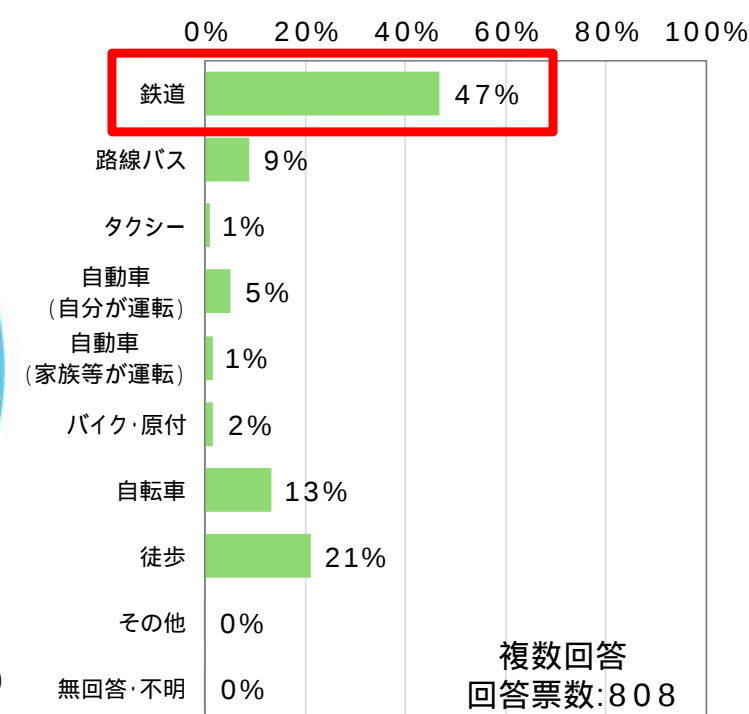
【通勤・通学の頻度】



【通勤・通学先】



【通勤・通学先への交通手段】

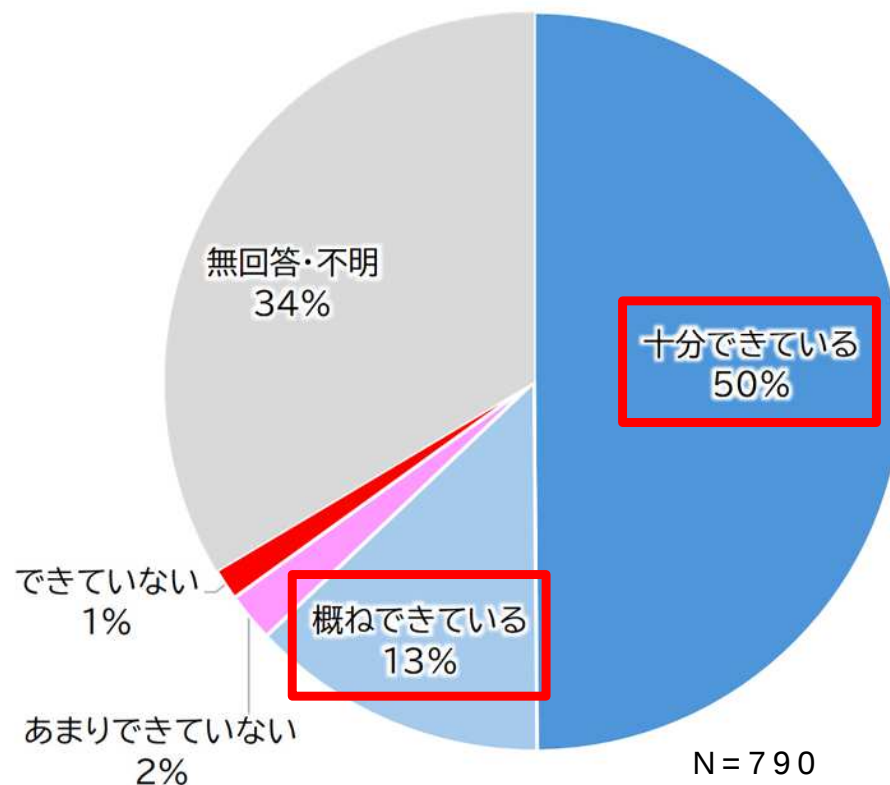


■ 調査結果

(3) 日常生活における外出(通勤・通学)

- 通勤・通学移動に対する評価は、「十分できている」が50%、「概ねできている」が13%であり、合計すると**63%の方が希望する移動手段で外出ができている**と回答している。
- 年代別にみると、10歳代～60歳代までは「十分できている」と「概ねできている」を合計すると60～90%となっている。70歳代、80歳代の方は通勤・通学をしていない方も多いと想定され、「無回答・不明」の割合が多くなっている。

【通勤・通学移動に対する評価】



【年代別にみた通勤・通学移動に対する評価】

	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	無回答・不明	合計
10歳代 (N=24)	92%	4%	4%	0%	0%	100%
20歳代 (N=62)	76%	11%	5%	2%	6%	100%
30歳代 (N=87)	62%	22%	3%	5%	8%	100%
40歳代 (N=141)	70%	21%	2%	1%	6%	100%
50歳代 (N=138)	58%	20%	3%	0%	20%	100%
60歳代 (N=125)	50%	10%	1%	2%	38%	100%
70歳代 (N=129)	20%	5%	1%	1%	74%	100%
80歳代以上 (N=78)	6%	3%	1%	1%	88%	100%
全体 (N=790)	50%	13%	2%	1%	34%	100%

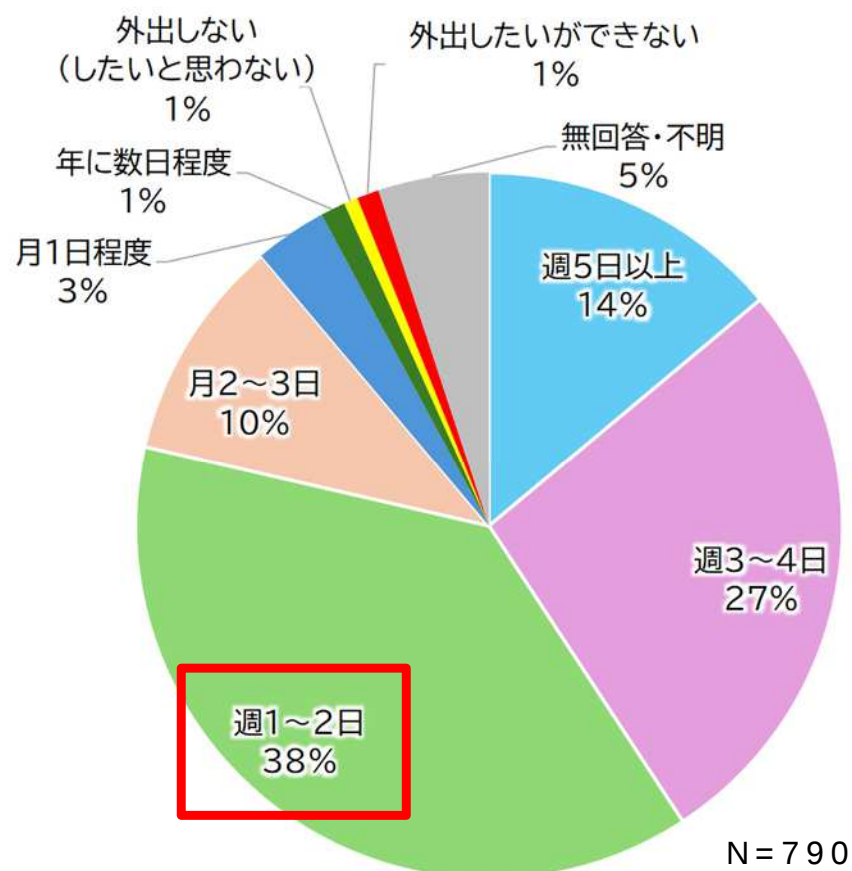
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

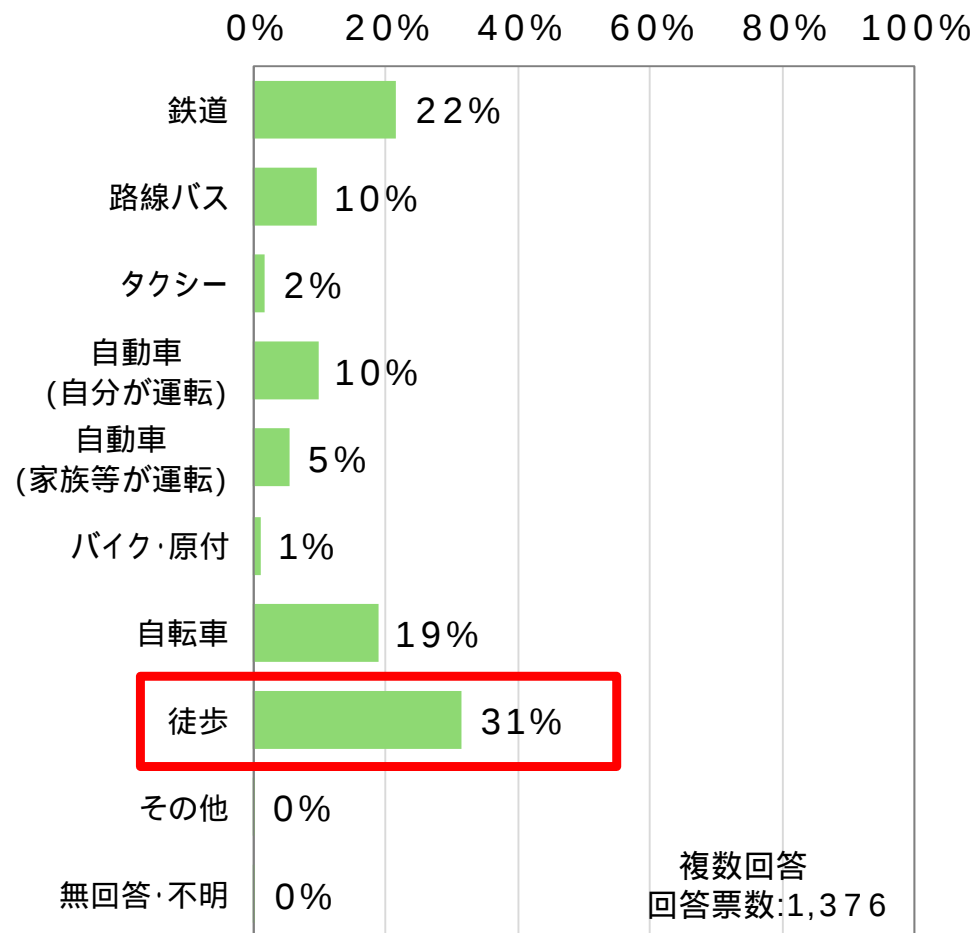
(3) 日常生活における外出(買い物)

- 買い物の頻度をみると、「週1～2日」が38%と最も多く、次いで多いのは「週3～4日」で27%と続いている。「外出したいができない」と回答した方は1%とごくわずかである。
- 買物先への交通手段は、「徒歩」が31%で最も多く、次いで「鉄道」が22%、「自転車」が19%と続いている。

【買い物の頻度】



【買物先への交通手段】

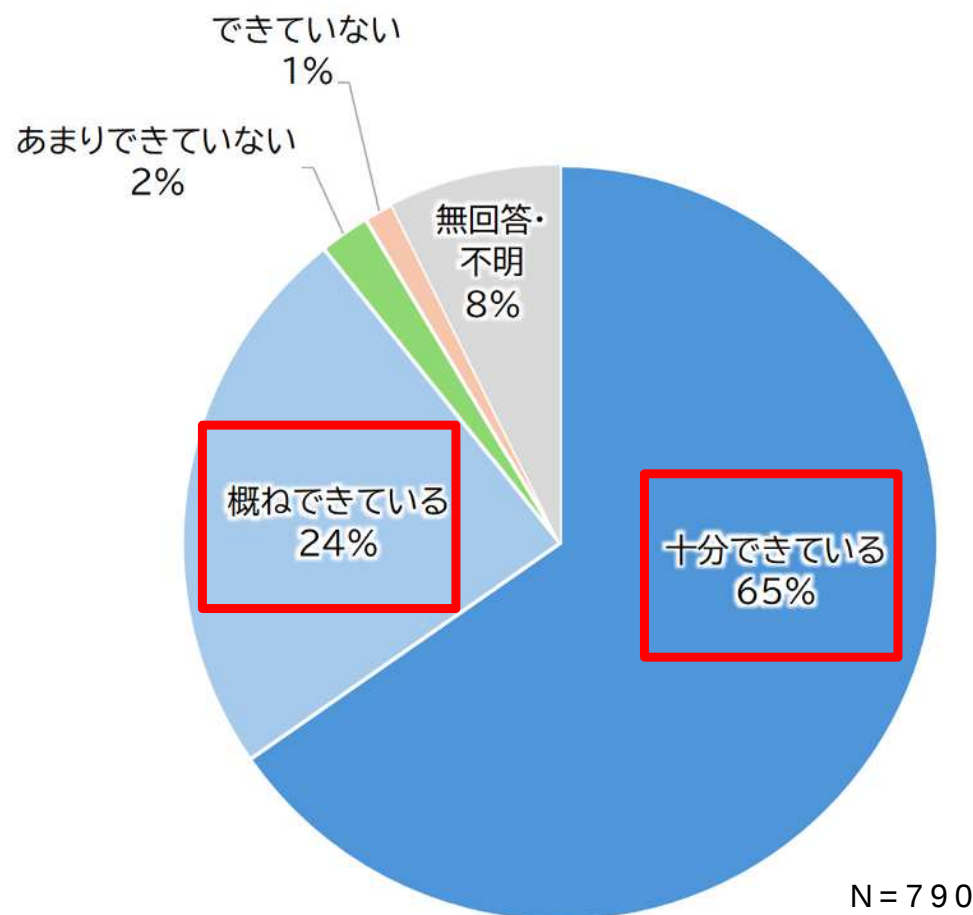


■ 調査結果

(3) 日常生活における外出(買い物)

- 買い物移動に対する評価は、「十分できている」が65%、「概ねできている」が24%であり、合計すると89%の方が希望する移動手段で外出ができていると回答している。
- 年代別にみると、10～70歳代で「十分できている」と「概ねできている」を合計すると約90%となっている。80歳代については、他の年代に比べて「十分できている」、「概ねできている」の割合が若干少なくなっている。

【買物移動に対する評価】



【年代別にみた買物移動に対する評価】

	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	無回答・不明	合計
10歳代 (N=24)	83%	13%	0%	0%	4%	100%
20歳代 (N=62)	71%	21%	3%	0%	5%	100%
30歳代 (N=87)	63%	28%	1%	3%	5%	100%
40歳代 (N=141)	77%	21%	2%	0%	1%	100%
50歳代 (N=138)	65%	28%	2%	0%	4%	100%
60歳代 (N=125)	67%	22%	2%	1%	8%	100%
70歳代 (N=129)	64%	25%	1%	1%	10%	100%
80歳以上 (N=78)	41%	23%	6%	6%	23%	100%
全体 (N=790)	65%	24%	2%	1%	7%	100%

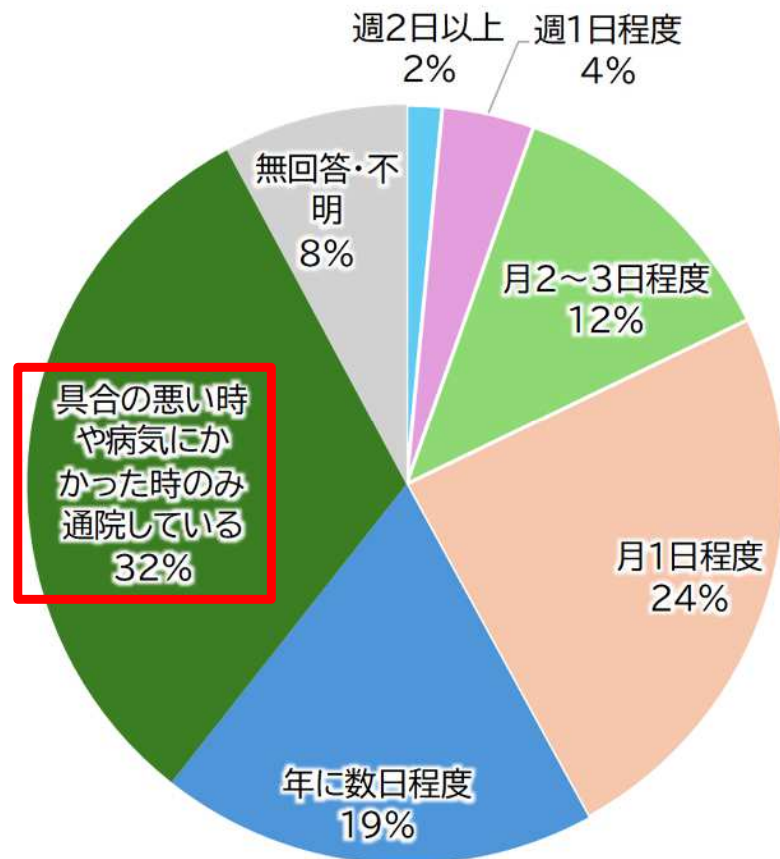
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

(3) 日常生活における外出(通院)

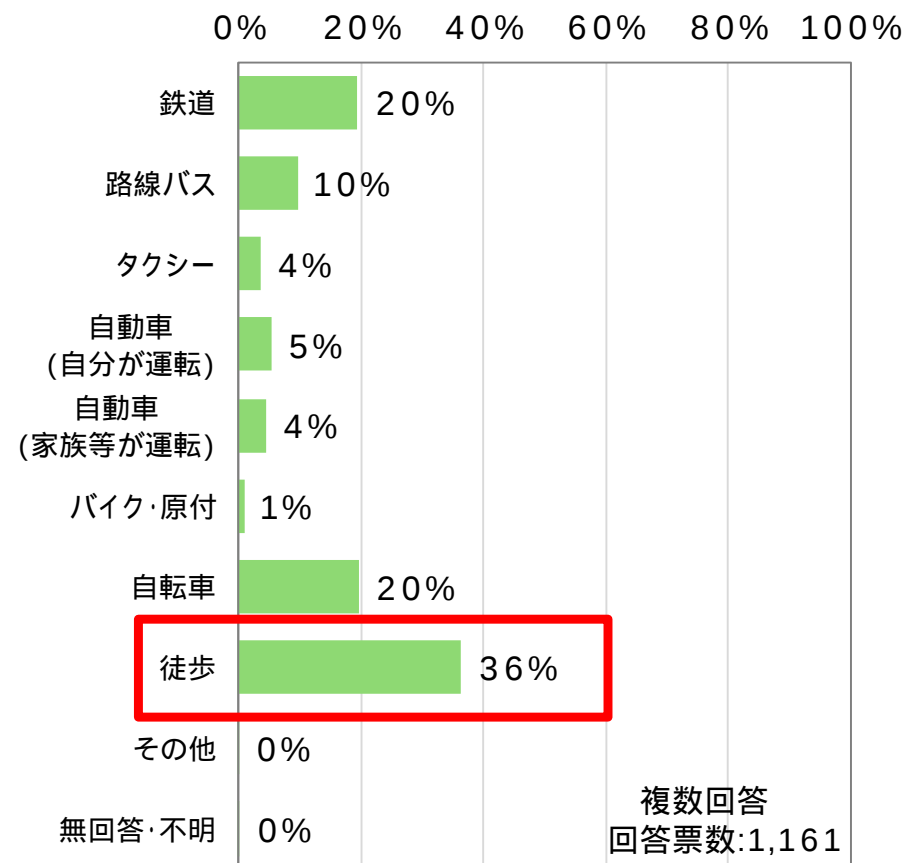
- 通院の頻度は、「**具合の悪い時や病気にかかった時のみ通院している**」が32%で最も多く、次いで「月に1日程度」が24%となっている。
- 通院先への交通手段は、「**徒歩**」が36%で最も多く、次いで「鉄道」および「自転車」が20%となっている。

【通院の頻度】



N = 790

【通院先への交通手段】

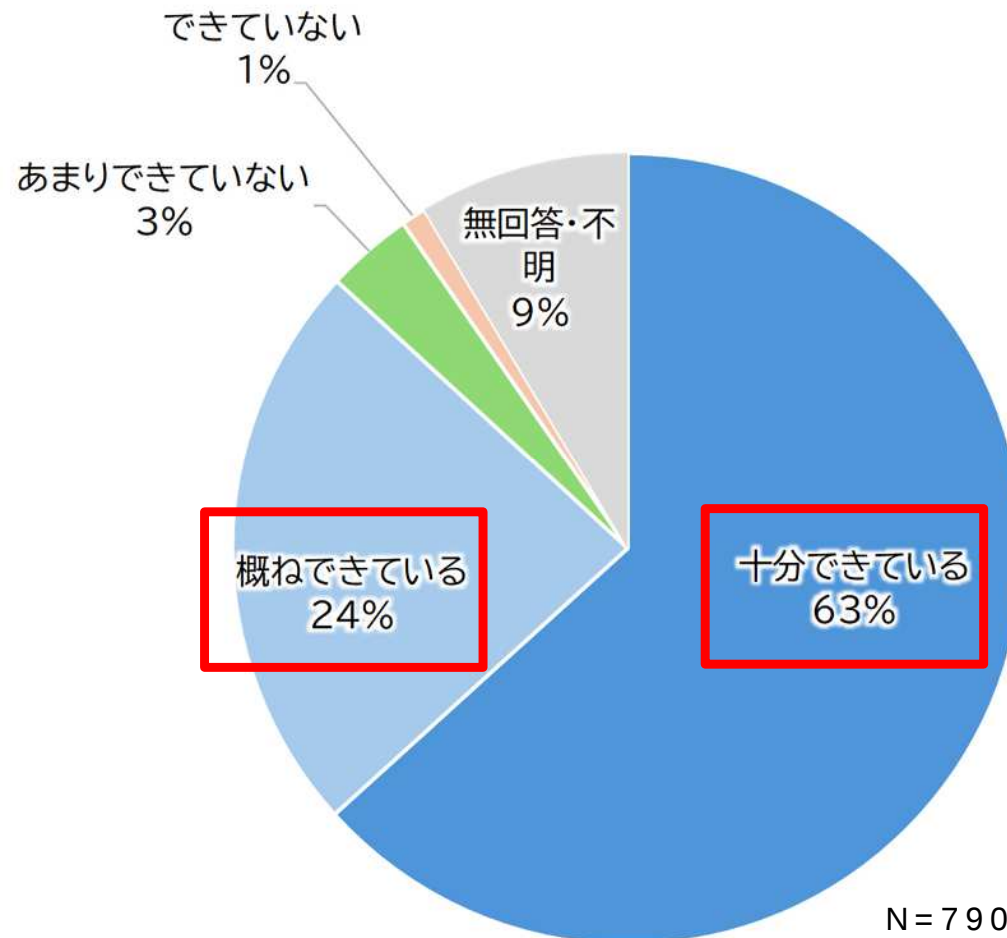


■ 調査結果

(3) 日常生活における外出(通院)

- 通院移動に対する評価は、「十分できている」が63%、「概ねできている」が24%であり、**合計すると87%の方が希望する移動手段で外出ができている**と回答している。
- 年代別にみると、全ての年代で「十分できている」と「概ねできている」の合計が70%を超える割合となっている。

【通院移動に対する評価】



【年代別にみた通院移動に対する評価】

	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	無回答・不明	合計
10歳代 (N=24)	83%	13%	0%	0%	4%	100%
20歳代 (N=62)	79%	16%	2%	0%	3%	100%
30歳代 (N=87)	57%	31%	3%	1%	7%	100%
40歳代 (N=141)	72%	23%	3%	1%	1%	100%
50歳代 (N=138)	62%	28%	3%	0%	7%	100%
60歳代 (N=125)	62%	22%	4%	2%	10%	100%
70歳代 (N=129)	62%	20%	4%	1%	13%	100%
80歳代以上 (N=78)	44%	27%	6%	4%	19%	100%
全体 (N=790)	63%	24%	4%	1%	9%	100%

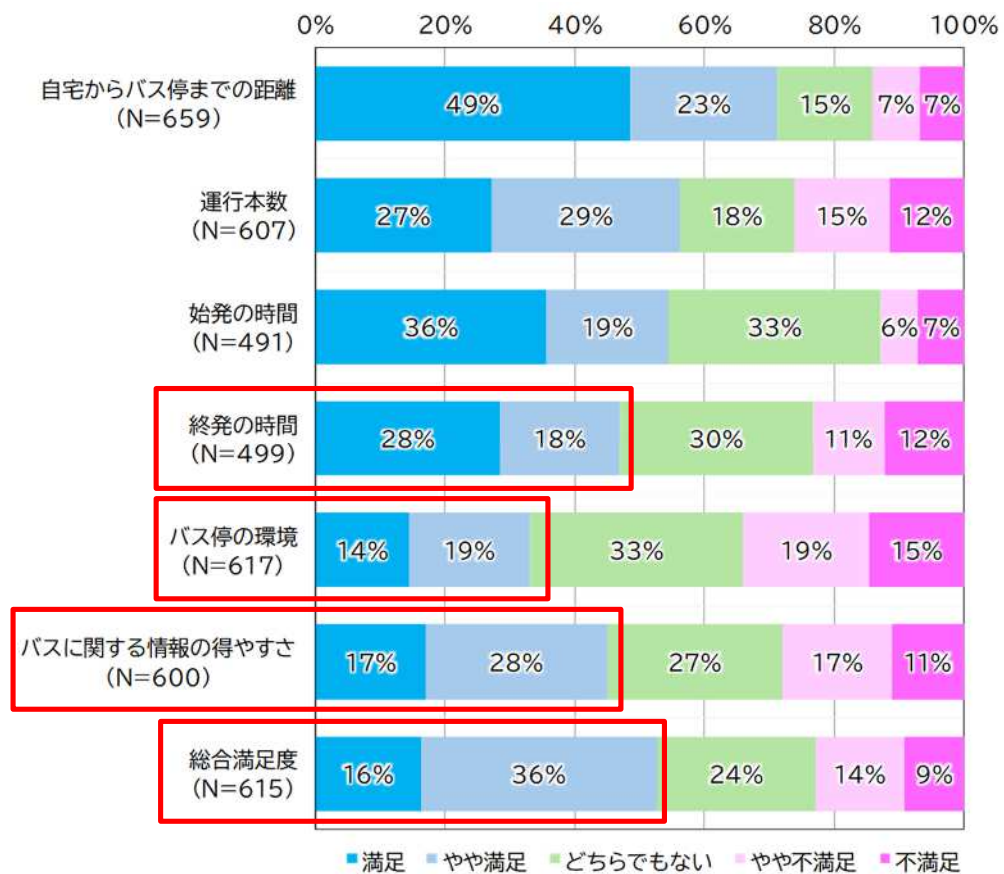
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

(4) 区内の公共交通の満足度(路線バス)

- 総合満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると52%であり、「やや不満足」と「不満足」を合わせた23%を上回っている。項目別にみると、「終発の時間」、「バス停の環境」、「バスに関する情報の得やすさ」が他の項目に比べて「満足」、「やや満足」の割合が低い傾向にある。
- 年代別では、50歳代、70歳代は「やや不満足」、「不満足」の合計が約30%で他の年代に比べて若干多い。

【路線バスに対する満足度】



「わからない」、「無回答・不明」を除いて集計 5%未満は非表示

【年代別にみた路線バスに対する満足度(総合満足度)】

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計
10歳代 (N=24)	25%	50%	13%	4%	8%	100%
20歳代 (N=50)	22%	38%	24%	8%	8%	100%
30歳代 (N=71)	13%	41%	27%	8%	11%	100%
40歳代 (N=124)	19%	30%	27%	17%	8%	100%
50歳代 (N=111)	13%	34%	25%	16%	12%	100%
60歳代 (N=90)	9%	34%	37%	10%	10%	100%
70歳代 (N=98)	19%	35%	16%	21%	8%	100%
80歳代以上 (N=44)	23%	50%	11%	9%	7%	100%
全体 (N=615)	16%	36%	24%	14%	9%	100%

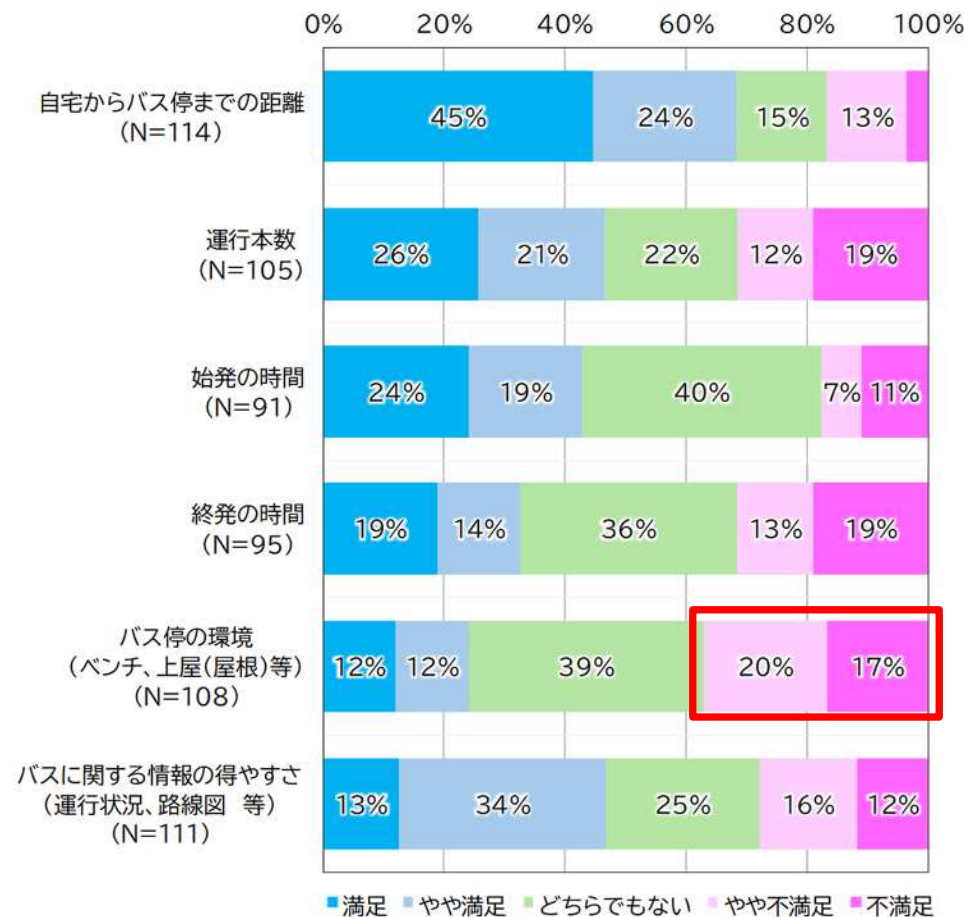
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

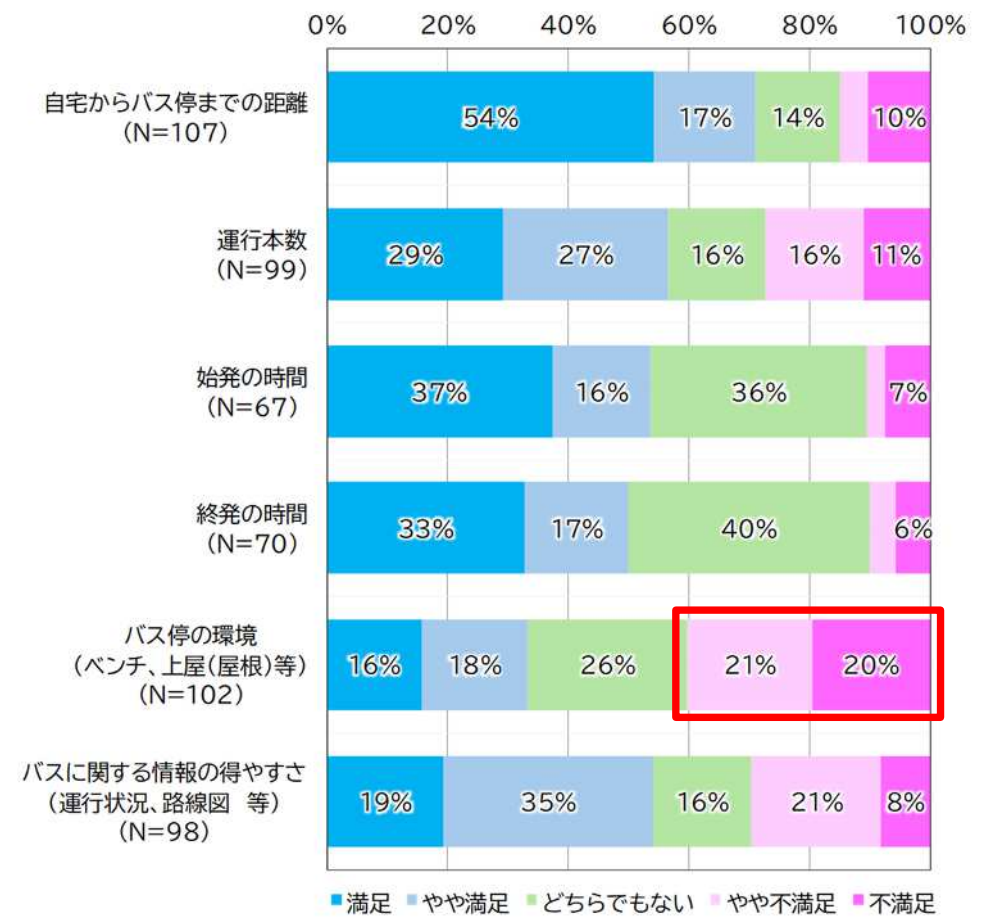
(4) 区内の公共交通の満足度(路線バス)

- 路線バスに対して「やや不満足」、「不満足」と回答した割合が多かった50歳代、70歳代について、項目別の満足度をみると、**50歳代、70歳代**ともに「**バス停の環境**」に対して「**やや不満足**」、「**不満足**」と回答した割合が**約4割**となっている。

【路線バスに対する満足度(50歳代)】



【路線バスに対する満足度(70歳代)】



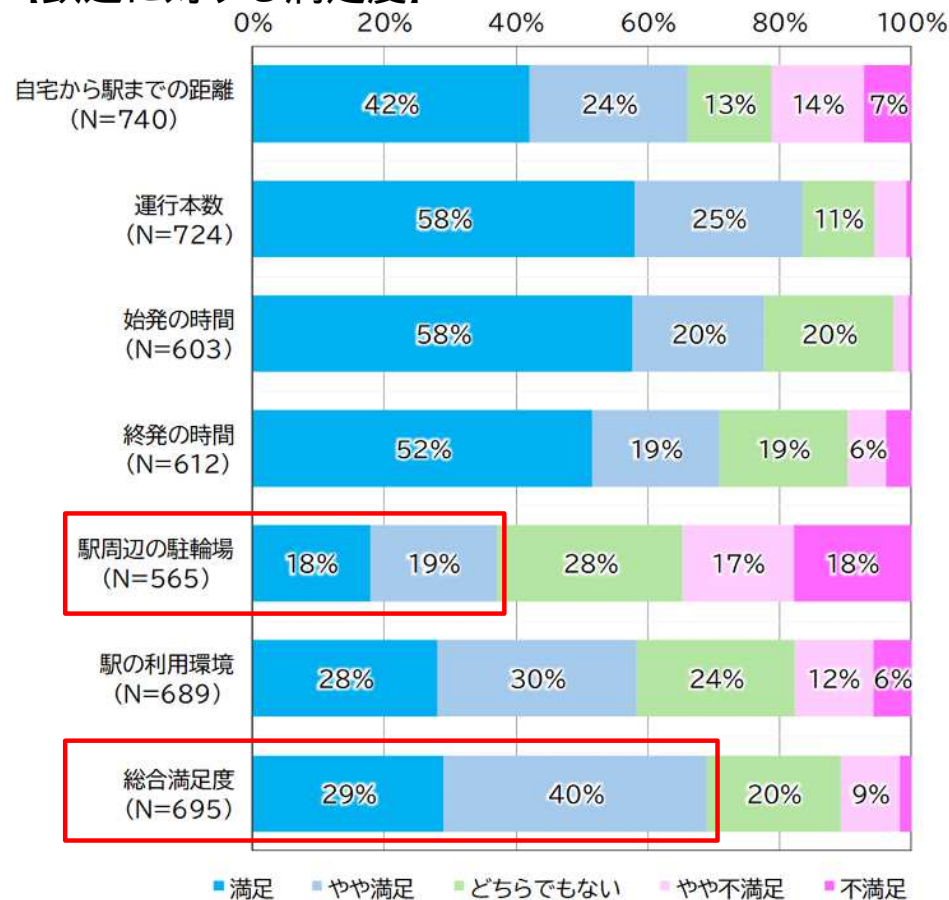
「わからない」、「無回答・不明」を除いて集計 5%未満は非表示

■ 調査結果

(4) 区内の公共交通の満足度(鉄道)

- 総合満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると69%であり、「やや不満足」と「不満足」を合わせた11%を上回っている。項目別にみると、「駅周辺の駐輪場」が他の項目に比べて「満足」、「やや満足」の割合が低い傾向にある。
- 鉄道の総合満足度については、いずれの年代においても概ね同様の傾向となっている。

【鉄道に対する満足度】



「わからない」、「無回答・不明」を除いて集計 5%未満は非表示

【年代別にみた鉄道に対する満足度(総合満足度)】

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計
10歳代 (N=24)	42%	33%	13%	8%	4%	100%
20歳代 (N=58)	41%	33%	17%	5%	3%	100%
30歳代 (N=85)	28%	41%	21%	9%	0%	100%
40歳代 (N=138)	31%	41%	19%	8%	1%	100%
50歳代 (N=131)	32%	37%	19%	10%	2%	100%
60歳代 (N=111)	19%	42%	24%	11%	4%	100%
70歳代 (N=102)	23%	43%	23%	11%	1%	100%
80歳代以上 (N=44)	32%	41%	18%	7%	2%	100%
全体 (N=695)	29%	40%	20%	9%	2%	100%

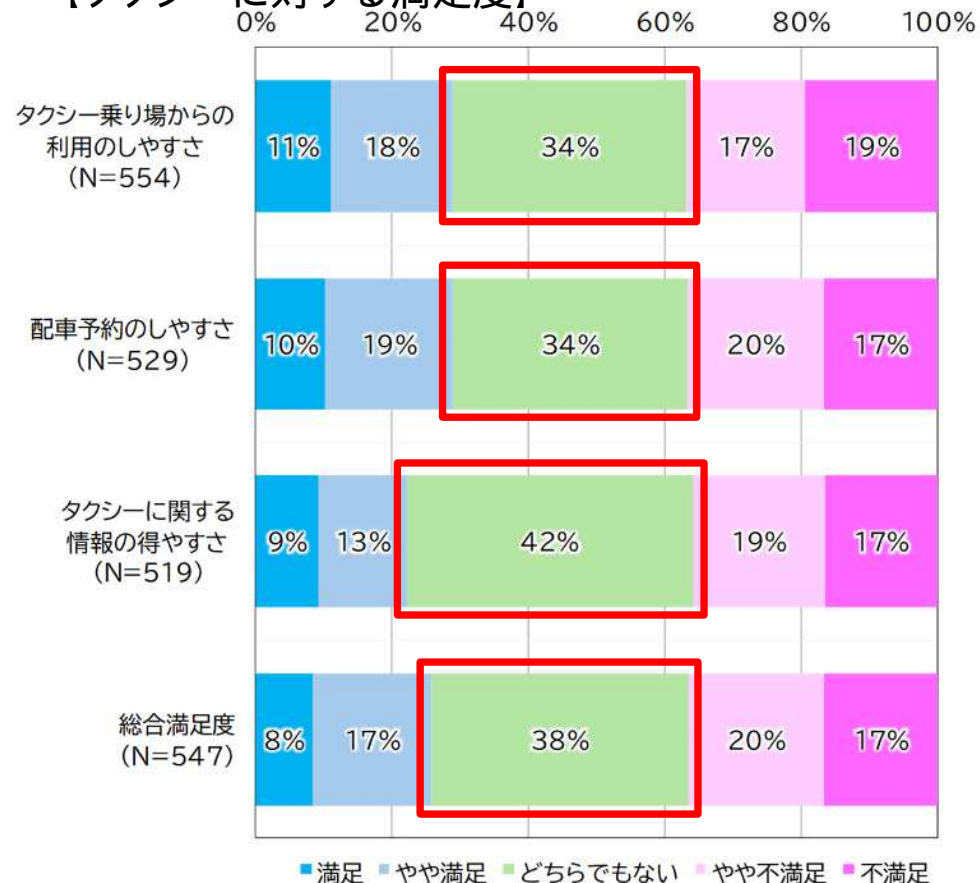
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

(4) 区内の公共交通の満足度(タクシー)

- タクシーに対しては、「タクシー乗り場からの利用のしやすさ」、「配車予約のしやすさ」、「タクシーに関する情報の得やすさ」のいずれについても「どちらでもない」が最も多くなっている。なお、タクシーは、鉄道、路線バスに比べて日常的な利用率が少ないため「どちらでもない」が多くなっていると考えられる。
- 年代別にみると、80歳代は「不満足」の割合が40%で他の年代に比べて多い。

【タクシーに対する満足度】



「わからない」、「無回答・不明」を除いて集計 5%未満は非表示

【年代別にみたタクシーに対する満足度(総合満足度)】

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計
10歳代 (N=16)	13%	19%	38%	31%	0%	100%
20歳代 (N=33)	18%	21%	39%	18%	3%	100%
30歳代 (N=63)	11%	25%	43%	13%	8%	100%
40歳代 (N=109)	9%	14%	44%	16%	17%	100%
50歳代 (N=106)	8%	17%	39%	21%	15%	100%
60歳代 (N=93)	1%	17%	41%	27%	14%	100%
70歳代 (N=83)	10%	18%	29%	19%	24%	100%
80歳代以上 (N=42)	7%	12%	19%	21%	40%	100%
全体 (N=547)	8%	17%	38%	20%	17%	100%

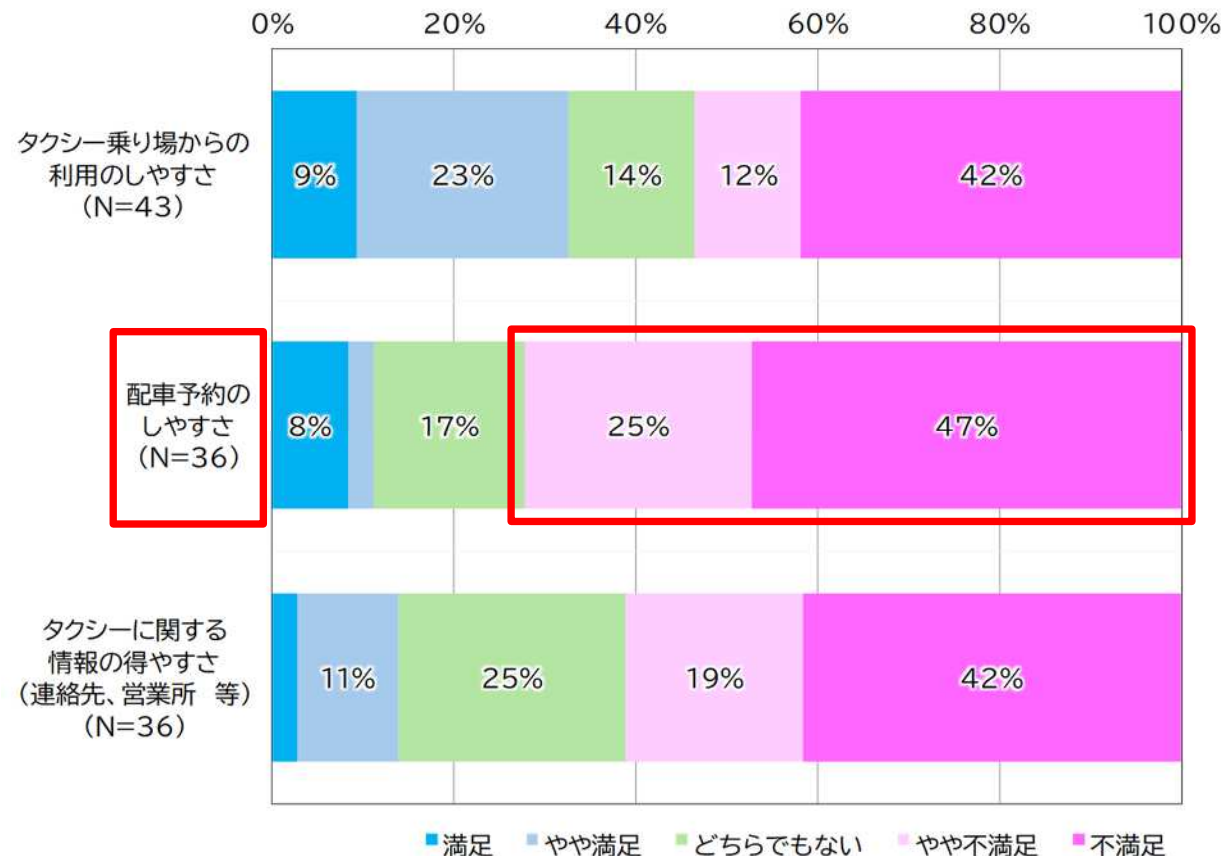
全体の票数は、年代について「無回答・不明」の票数を含めて集計

■ 調査結果

(4) 区内の公共交通の満足度(タクシー)

- タクシーに対して「不満足」と回答した割合が多かった80歳代について、項目別の満足度をみると、いずれの項目についても「不満足」が約4割を占めている。
- 特に「配車予約のしやすさ」は、「やや不満足」、「不満足」を合わせると、約7割を占めている。

【80歳代以上のタクシーに対する満足度】



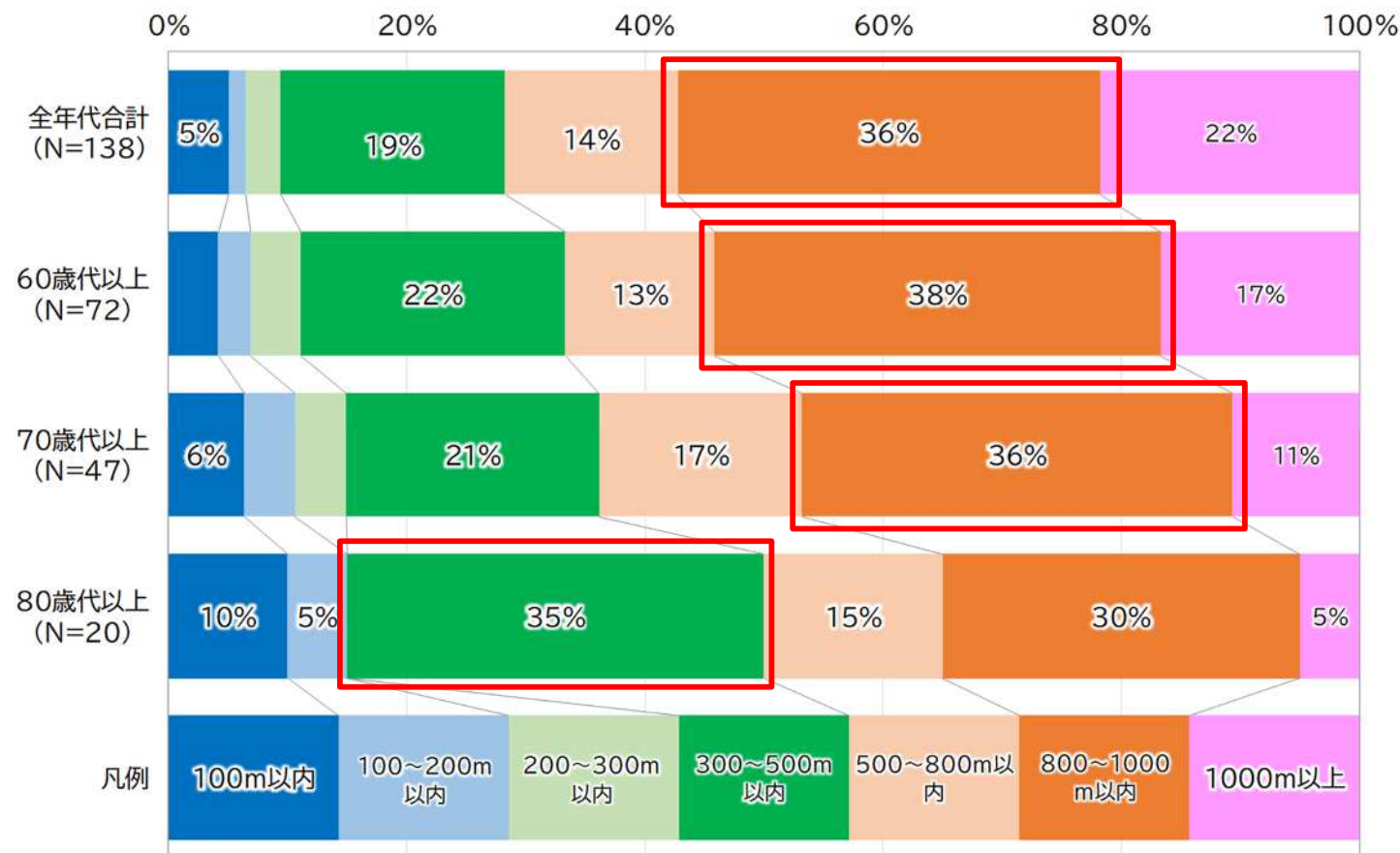
「わからない」、「無回答・不明」を除いて集計 5%未満は非表示

■ 調査結果

(5) これからの公共交通のあり方(不便と感じる鉄道駅までの距離)

- 不便と感じる鉄道駅までの距離について、**全年代合計**でみると、「**800～1000m**」が36%で最も多く、次いで多いのは「1000m以上」で22%となっている。
- 年代別にみると、**60歳代以上、70歳代以上**では「**800～1000m**」がそれぞれ38%、36%と最も多く、**80歳代**では「**300～500m**」が35%で最も多くなっている。

【不便と感じる鉄道駅までの距離】



※5%未満は非表示

■ 調査結果

(5) これからの公共交通のあり方(不便と感じるバス停までの距離)

- 不便と感じるバス停までの距離について、**全年代合計**でみると、「**300～500m**」が29%で最も多く、次いで多いのは「100～200m」で19%となっている。
- 年代別にみると、**60歳代以上**、**70歳代以上**では「**300～500m**」がそれぞれ33%、22%と最も多く、**80歳代**では「**100～200m**」が35%で最も多くなっている。

【不便と感じるバス停までの距離】



5%未満は非表示

■ 調査結果

(5) これからの公共交通のあり方(距離や時間以外で不便と感じる理由)

- 距離や時間以外で不便と感じる理由としては、「道が狭い・歩道がなく歩きづらい」が33票で最も多く、次いで「運行本数・運行時間帯が不満・乗継が悪い」が23票、「信号待ちが長い」が18票、「坂道の存在」が16票の順となっている。

【距離や時間以外で不便と感じる理由】

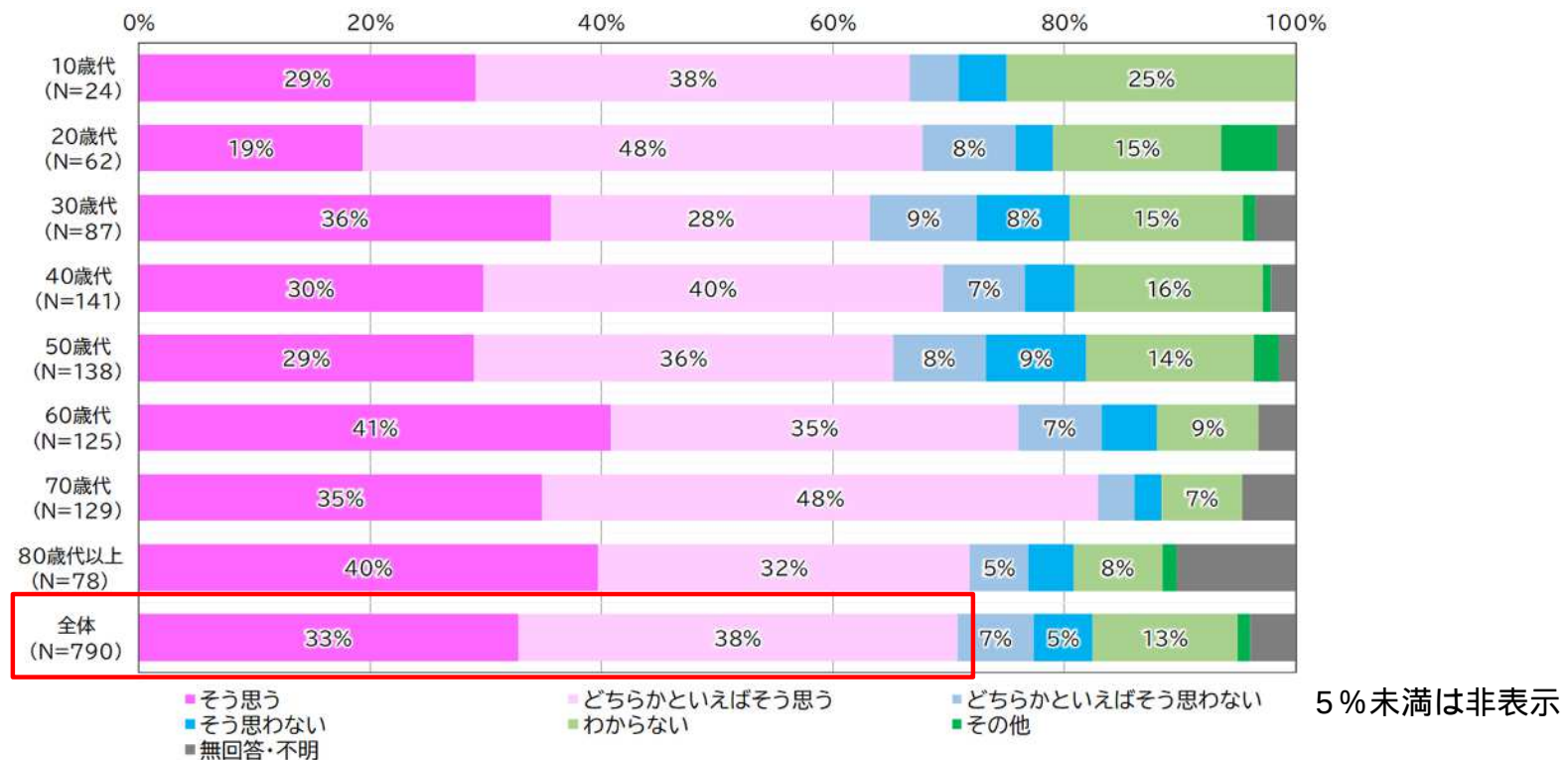
不便を感じる理由	票数
踏切の存在	10
坂道の存在	16
信号待ちが長い	18
道が狭い・歩道がなく歩きづらい	33
自転車との錯綜	7
エレベーター・エスカレーターの不足	5
地下通路や陸橋の不足	1
駐輪場の不足	6
運行本数・運行時間帯・乗継が悪い	23
バス路線の不足	3
バスの遅延	4
バス・電車の混雑	5
バス停の場所が分かりづらい・距離が遠い	7
バス停環境	7
その他	31
特になし	44
合計	220

■ 調査結果

(6) 公共交通維持に係る費用負担のあり方

- 公共交通維持のために区が財政的支援を行うべきかについては、全体でみると、「そう思う」が33%、「どちらかといえばそう思う」が38%で**肯定的な意見が約7割**を占めている。
- いずれの年代でも「**そう思う**」、「**どちらかといえばそう思う**」の合計は**約6～8割**を占めている。

【区の公共交通の維持に向けた財政的支援の必要性】



- そう思わない方の意見: バス事業者が運行しないルートは、需要が少なく、採算性が悪く、便数も多く出せないため、財政支援で継続できるか疑問である。

■ 調査結果のまとめ

項目	まとめ
交通手段の利用状況	- 最もよく利用する交通手段は、全年代では「鉄道」が46%で最も多く、次いで「自転車」が17%となっている。<u>70歳代、80歳代は、他の年代に比べて路線バスの割合が約20%と高くなっている。</u> - 最寄り駅までの交通手段は、「徒歩」は全年代で最も多くの割合を占めているものの、<u>70歳代、80歳代については、路線バスが約20%となっており、他の年代に比べて多く利用されている。</u>
日常生活における外出	通勤・通学、買い物、通院のいずれの目的の外出についても、<u>「十分できている」、「概ねできている」と回答した方が6～9割</u>を占めており、「あまりできていない」、「できていない」と回答した方の割合は少ない。
区内の公共交通の満足度	- 路線バスは、<u>「満足」、「やや満足」の割合が「不満足」、「やや不満足」の割合を上回っている</u>が、<u>「終発の時間」、「バス停の環境」、「バスに対する情報の得やすさ」</u>については、「満足」、「やや満足」と回答した方の<u>割合が低い傾向</u>にある。 - 鉄道は、<u>「満足」、「やや満足」の割合が「不満足」、「やや不満足」の割合を上回っている</u>が、<u>「駅周辺の駐輪場」</u>については、「満足」、「やや満足」と回答した方の<u>割合が低い傾向</u>にある。 - タクシーについては、<u>年代が上がるにつれて、「やや不満足」、「不満足」の回答割合が多くなる傾向</u>にあり、特に<u>80歳代以上でその傾向が顕著</u>である。

■ 調査結果のまとめ

項目	まとめ
これからの公共交通のあり方	● 不便と感じる鉄道駅までの距離は、<u>全年代合計では「800～1000m」が最も多いが、80歳代以上では「300～500m」が最も多い。</u> ● 不便と感じるバス停までの距離は、<u>全年代合計では「300～500m」が最も多いが80歳代以上では「100～200m」が最も多い。</u> ● 距離や時間以外で不便と感じる理由としては、<u>「道が狭い・歩道がなく歩きづらい」</u>が最も多くなっている。その他としては、「運行本数・運行時間帯が不満・乗継が悪い」、「信号待ちが長い」、「坂道の存在」、「踏切の存在」等が挙げられている。 ● 公共交通維持のために<u>区が財政的支援を行うべきかについては、肯定的な意見が約7割を占めている。</u>